

様式B

令和5年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和佐幼稚園

教育目標

豊かな心を持ち、明るく元気な和佐っ子を育てる。

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況
自分の力を発揮して遊びを楽しむ子供を育てる	主体的活動が生まれる環境と援助について	豊かな経験をを通して	四季を感じる植物を育て、生長や収穫を楽しめるようにする。
		豊かな経験ができるように、たっぷりと遊べる時間を確保する。	登園後から、11時までの時間は、子供たちが興味をもって遊べる時間として、どの学年も確保している。
		子供たちの興味や関心の幅が広がるように、遊具や用具、材料を豊富に準備する。	遊ぶ道具は、子供たちの遊んでいる状況を見てから、道具を精選した。
		園内の環境で、四季折々を感じられるような環境を工夫する。	気温の高い日には、日陰になるように日よけやテント・パラソルなどを利用した。また、水あそびを思う存分できるように、泥遊びや石鹸・色水など、子供たちが遊びやすいように机などを設置した。
	身近な人との触れ合いを通して	遊びや日々の生活を通して、他の学年の友達にも親しみを持ち、一緒に遊びたい気持ちをもてるようにする。	登園後から11時までの間は、ゴールデンタイムとし、子供たちのの興味のある遊びから、異年齢児への関りも自然と生まれている。また、上級生の子供たちが、下級生の子供たちに優しくかわる姿も多く見られている。
		一人一人の子供の実態に応じた細やかな支援をするため、職員間で子供理解に努め、共通理解を図る。	ゴールデンタイム時での様子は、職員間で共有することも多く、より多面的に子供理解に務めることができた。
		隣接する小学校との交流を通して、小学校へ期待をもったり、幼稚園以外の人々にかかわったりする楽しさを味わう。	今年度も5歳児中心に、小学生との交流は行えた。また、事前の打ち合わせや事後の反省等も、職員同士も深くつながることができつつある。
	子育て支援を通して	毎日の送迎に、園での子供の様子伝えたり、家庭での様子を聞いたりしながら、共に成長を見守っていく。	降園時に、保護者との話す機会はもちろんのこと、各クラスの園庭開放時にも話すことで、保護者と共に子供の成長を話せるようにしてきた。
		保護者や地域の方に、幼稚園教育をわかりやすく伝えるために、クラスだよりや園だより、ホームページ等を活用する。	クラスだよりは、子供たちの様子がわかるようにカラー印刷にし、配布時期は決めず、その都度配布するようにしている。ホームページも今年度もなるべく更新できるように心がけてきた。

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

- 園の取組では、全体的に大方肯定的な回答してくれてたことは、とても嬉しいことである。
- 幼小連携の部分は、どうしても5歳児が主になってしまい、他の学年の保護者への発信の仕方が課題である。
- 自身の子供についても、低く評価している保護者も多く、もう少し子供たちの成長を伝えていった方がよい。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

引き続き、和佐幼稚園教育を保護者や地域へ発信の工夫をすると共に、目の前の子供たちの健やかな育ちに向けて、取り組んでいきたいと思う。また、小学校との交流も引き続き行い、幼稚園教育から小学校教育の9年間を見据えた教育を考えていきたいと思う。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

- 日本全国で地震が多くなっているの、計画の中にも防災について掲げてほしい。和佐地区は、津波は来ないという想定だが、川の氾濫等も含め、子供の命を守るという防災意識を高めてほしい。
- ホームページ等も見ているので、保護者や地域、地域以外の人にも広めてほしい。